

おおいぎ

# 林業雇用だより

6号

発行所  
（財）大分県森林  
整備センター

林業雇用改善相談室  
〒870-0844  
大分市大字古国府1337の15  
TEL FAX  
097-543-7690 097-546-6969

## 魅力ある林業の職場づくりをめざして

平成10年度林業雇用改善促進事業の紹介

### （その1）「林業職場見学会・林業環境セミナーの開催」

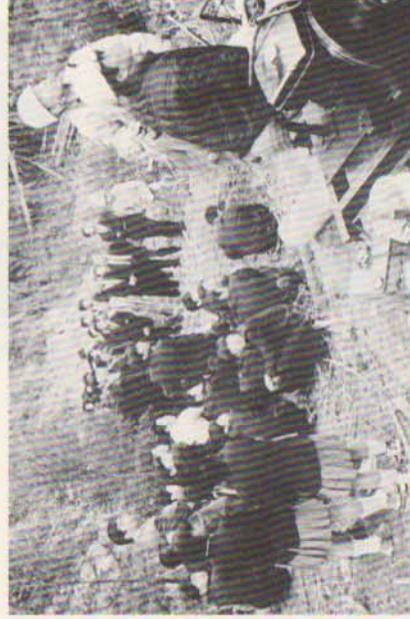
平成10年11月5日、若年林業労働力確保のため、山香農業高校農業経営科2年生33名及び宇佐産業科学高校農業経営科2年生35名うち女子7名を対象に次のとおり林業職場見学会・林業環境セミナーを開催しました。

#### ○林業職場見学会

◇下毛郡森林組合森林整備センターのヒノキ林の素材生産現場で高性能林業機械の利用について説明を聴き、同センターオペレーターによる伐倒木の搬出や造材作業を見学しました。

◇下毛郡森林組合の最新式ノーマンシステム製材工場で梶原組合長から製材の加工・販売について説明を聴き、工場ラインの見学をしました。

◇山国川プレカト事業協同組合の工場で大森参事からコンピューター一貫切り込み加工システム等の説明を聴き、工場ラインの見学をしました。



（素材生産現場見学）

#### ○林業環境セミナー

◇「森林を育てる」のテーマで、中津下毛地方振興局林業水産課長小野修二氏から森林の役割や大分県の林業生産状況と振興施策等について講話を聴きました。

◇「林業職場の環境特性について」のテーマで梶原千雪下毛郡森林組合長から森林組合の森林整備の仕事、木材生産・販売、木材加工事業の実施状況や他産業に劣らない魅力ある林業職場づくりの取り組みについて講話を聴きました。

◇講師と高校生の意見交換



（プレカト工場見学）

## 参加高校生に対するアンケート結果について

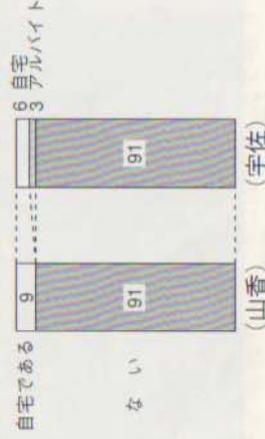
見学会・セミナー終了後、参加高校生に森林・林業に対するイメージや卒業後の進路などについてアンケートを行った。なお、山香農業者学校(山香農高)は、自営農業者育成高校とされており、宇佐産業科学高等学校(宇佐産業科学高)は農業、工業併設高校である。

このアンケート結果によると、

①今までに林業の仕事を体験したことがあるかの問いに対しては、自宅またはアルバイトであると回答した者が、両高校3名(9%)づつであり、林業の仕事をしたことがある高校生は極めて少ないことが伺える。

②森林・林業についてよくわかったかの問いに対しては、「森林は国民生活に必要な木材を供給する、レクリエーションの場である」などについては、そう思う回答割合が高くなっており、「国土を守り、水源を確保する」については、そう思う回答割合とそうは思わない回答割合がほぼ同じになっている。また、「林業が農山村において欠くことのできない産業である」ことについては、宇佐産業科学高でそう思う回答割合が高くなっており、山香農高ではそうは思わない、わからないの回答割合が高くなっている。森林・林業についての高校生の意識は、通常聞き馴れている木材生産やレクリエーションの場の機能については、よく理解できたようであるが、国土保全機能や地域産業の役割については、よ

### 1 今までに林業の仕事を体験したことがあるか。



数字は%

(山香) = 山香農業者高等学校 33名

(宇佐) = 宇佐産業科学高等学校 35名

く理解できてなかったようである。

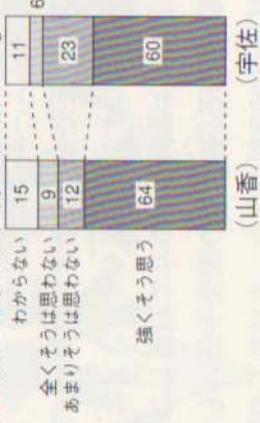
③林業職場のイメージをどのよう思うかの問いに対しては、「自然相手の仕事なのでやりがいがある」、「機械化が進めば若者にとって魅力ある仕事である」については、そうは思わない、わからないの回答割合が高くなっており、「危険、きつい、汚い仕事である」については、山香農高でそう思う回答割合が高く、宇佐産業科学高ではそうは思わない回答割合が高くなっている。また、「格好がわるい仕事である」については、そうは思わない回答割合が7割を占めている。林業は、危険、きつい、汚い仕事であるとするとマイナスイメージについては両高校間で、そう思う、そうは思わないとする意識の違いがあるが、格好がわるい仕事とは意識していないようである。

④卒業後の進路等を尋ねたところ、2年生のため、まだ具体的な考えがまとまっていないようであるが、進学が多く、次に会社員志望で、農協、森林組合職員志望は山香農高は0人、宇佐産業科学高で2人となっている。

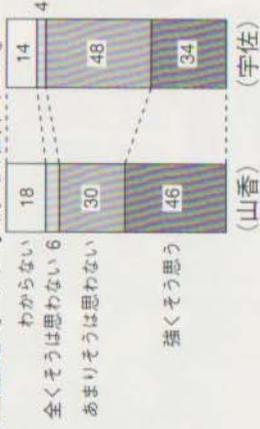
⑤今後このような見学会・セミナーを開催したら参加したいと思うかの問いに対しては、どうでもよい、参加したいの順になっており、参加したいが30%でしかないことについては今後の検討課題と考えられる。

2 見学会・セミナーで森林・林業のことがよくわかったか。

①国民生活に必要な木材を供給する。

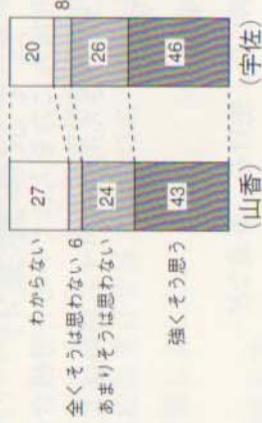


②国土を守り、水源を確保する。



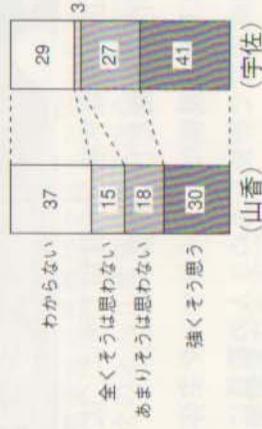
③森林は、レクリエーションの場であり、森林

浴は心身の健康を保つ。



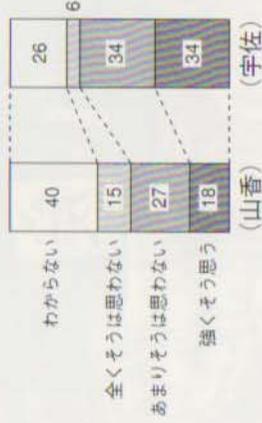
④林業は、農山村にとって欠くことのできな

い産業である。

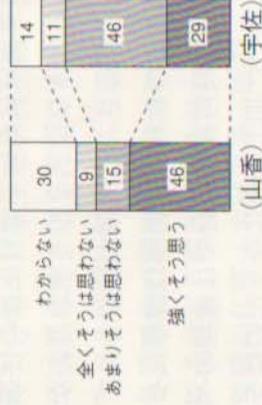


3 林業職場のイメージをどのように思うか。

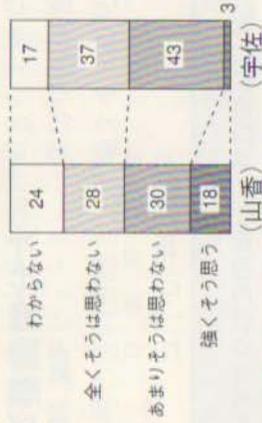
①自然相手の仕事なのでやりがいがある。



②危険、きつい、汚い仕事である。

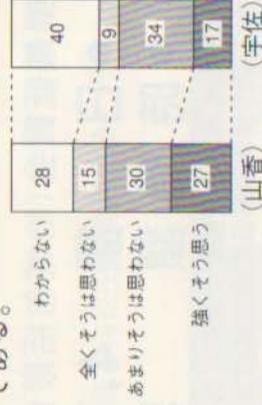


③格好がわるい仕事である。



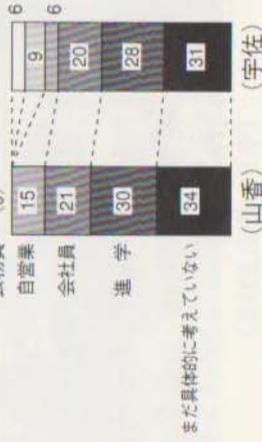
④機械化が進めば若者にとって魅力ある仕事

である。



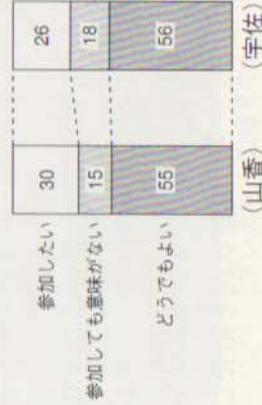
4 卒業後の進路等をおしえてください。

農島・森林組合の職員 (0)  
公務員 (0)



5 今後もこのような見学会・セミナーに参

加したいと思うか。



農島・森林組合の職員  
公務員

## がんばりやさん紹介

木材加工所の女性所長 東国東郡森林組合 首藤加代子さん



加工所では、主に入荷原木の才取り、製品の出荷・販売等の工場管理からオガ粉製造機を操作しオガ粉生産もする。また、昨年7月に組合職員が手作りで設置した林産物展示直販所「<sup>ひんさん</sup>林林」の販売手伝いもする。

木材不況が深刻な昨今、木材加工や県一番の竹資源を生かした竹炭の生産等、地域産品開発により付加価値の高い新しい林業の取り組みに力を入れている矢野組合長のかんばりやさん所長に対する期待は大きいようである。

趣味は、

押し花、生け花、茶道など

安岐町出身。



東国東郡森林組合木材加工所は、広域合併の目玉事業として設置された。

加工所の規模は、ツインソーを主体とした製材施設で所長を含め3人の職員により主に注文挽き(8割)の加工を行っている小規模なものである。しかし、比較的未成熟な林業地域において素材生産の付加価値を高める大きな役割を担っており、かんばりやさん首藤さんの活躍が期待されている。

首藤さんの森林組合勤務は27年になる。合併前の安岐町森林組合では経理のベテランであった。加工所長になったのは5年前である。

**大分県最低賃金(地域包括最低賃金)**

● **日 額** 4,713円  
● **時 間 額** 591円

大分県下のすべての労働者に適用されます。ただし下記の産業別最低賃金対象産業に該当する場合には当該最低賃金が適用になります。

(林業に関係ないので省略)

**大分労働基準局**

平成10年度

効 力 発 生 日  
平成10年10月1日

## 編集後記

本号は、林業雇用改善促進事業を理解していただくため、事業項目の一つである採用活動改善事業のうちの林業職場見学会・林業環境セミナーの開催状況を紹介しまし

た。参加者アンケートからみて高校生の林業に関する理解を多少でも高めることができたと考えられます。次号は、研修会の開催状況を紹介します。